

平成 23 年 2 月定例会
一般質問通告者一覧表

発言 順位	氏 名	大 項 目
1	頓宮美津子	1 市民の心のケアについて 2 学校給食について 3 投票率向上について
2	丹 下 茂	1 市長の政治姿勢について 2 災害対策について 3 消防行政について 4 教育行政について
3	荒 木 勝 美	1 第 1 次総合計画後期基本計 画策定に当たっての基本的 な考え方について 2 平成 2 3 年度予算編成につ いて
4	大 熊 公 平	1 市長の政治姿勢について 2 商店街の再生について
5	片 岡 茂 夫	1 地域イベント（阿曾の火祭 り）について 2 交通安全対策について
6	笠 原 武 士	1 新年度予算と今後の財政に ついて 2 コミュニティの活性化と行 政の果たす役割について 3 そうじゃ吉備路マラソンに ついて
7	村 木 理 英	1 そうじゃ吉備路マラソンに ついて
8	松 浦 政 利	1 市長の政治姿勢について 2 過疎対策について 3 財政状況にいて
9	難 波 正 吾	1 市営住宅の現状と今後につ いて 2 服部駅南の整備について 3 住宅リフォーム助成制度の 創設について 4 長良山の整備について

《 頓 宮 美 津 子 》
市民の心のケアについて

問 うつ対策について、あるいは自死対策について、十分な相談体制になっているのか。医師会との連携はどうなっているのか。また、自死対策の「いのちの電話」は完全なボランティアで、24時間体制もあり、大変有効な対策の一つでもある。周知徹底と身近な所で気軽に手にできるカード

のようなものを作成してはどうか。

答 大事な対策だが、うつ対策も自死対策も相談体制は十分ではない。早急に本部長として予防本部会議を結成し、対策に全力を尽くしたい。また、「いのちの電話」の活用及びPR活動等を実施していきたい。

教育行政について

問 学校給食について栄養教

諭の配置の効果とアレルギー対策の牛乳について、代替食として、あるいは、和食の際にもお茶などの飲み物を導入する考えはないか。牛乳に関しては、文科科学省も自治体の責任で柔軟に対応して良いとなってきた。

答 栄養教諭は、食の安全・食の健康等について子ども



いのちの電話

《 丹 下 茂 》

消防行政について

問 火災警報器の設置状況と普及促進に向けての今後の対応についてどうするのか。

答 平成 22 年 12 月現在の全国の推進普及率は 63・6％、岡山県の平均普及率は 50・6％、総社市の本年 2 月の調査では 51％である。5 月 31 日までの設置期限に向けては、「広報そうじゃ」3 月号で特集記事

を掲載しており、今後は消防・自治会・自主防災組織・各種団体にご協力をいただき共同購入等の推進を含め啓発促進を図っていきたい。

教育行政について

問 「N・E 教育（教育に新聞を活用する）」、「障がい児が読むことが困難な子に対してのデジタル教科書を活用しての教育」をどのように促進していくのか。

答 学習教材としての新聞活用は、思考力・表現力・生きる力を育むうえで極めて有効であり、総社市では教員 3 名が新聞社で社会体験を積み、成果が見られるので進めたい。また、障がいのある子どもたちのデジタル教科書については、低学年に週一度の割合で試行的に活用しており、今後、障がいの種類、程度によって活用方法を研究していきたい。

（教育長）



火災警報器

《 荒 木 勝 美 》

総合計画後期基本計画の策定に当たって

問 前期基本計画の見直し点及び後期基本計画の重点は何か。

答 合併後の前期基本計画なので、具体的な言及がない。後期では、自立し、「子育て王国そうじゃ」、新医療体系の充実、新農業会議将来ビジョン、総社観光プロジェクト

の今後、数値等目標を立てて進める。

問 市長として、どのようなまちにしたいと考えているか。

答 「福祉」に全力を傾注し、県下ナンバーワンにしてい

く。

（市長）

平成 23 年度予算編成について

問 特に重点を置いた施策は何か。

答 限られた予算の中で、で

きる限り地域予算を確保、福祉は減額せず、目玉の政策予算として、特に新生活交通、地産地消、観光プロジェクトなどについて、惜しまない予算とした。

問 任期中最後の予算編成となるが、公約の中でやり残したものはあるか。

答 10 の公約はほぼできた。農家への新補助金制度の創設はできていないが、学校給食の買い付け制度で具現化する。



第 1 次総社市総合計画後期基本計画